



働く女性にとって結婚や出産、育児といったライフイベントは、社会人生活を左右する岐路になることが多い。さまざまな業務を経験し、技術者として自分がどう歩んでいくのか考えた時、将来に対し「ぼんやりと不安を感じることもある」と話す。ただ環境に関わる仕事がしたい、という思いをかなえるために決めた建設コンサルタント業

いつも笑顔を忘れずに



大日本コンサルタント 東京支社  
社会創造技術部地域・環境計画室

きのした あき  
木下 亜季さん

昇への就職。仕事を通じ繁忙期に入っている。気「自分の可能性が広げられそうだ」という思いも確実に強まっている。

担当する環境や都市計画といった分野の業務は「構造物を造るのと違って結果が見えにくい面もある。でも地域づくりに貢献できる仕事だと思っているので、可能な限り長く続けたい」。

年度末が迫り、仕事は

働き始めて5年目。

「自分がどうあるべきなのか、方向性をしっかりと考えなければいけない時期」だと感じている。会社はより良い環境の職場づくりに力を入れ始め、女性社員の声を聞くための取り組みもスタートさせた。足元をしっかりと見つめながら、笑顔を絶やさず、前に進み続けたいと思っている。